

昭和九年六月五日

昭和九年六月五日

東港支店メモ

東港支店



日米鮪協商其後、消息

一反カニ好轉期待――

(一) 決裂後、日米鮪協商、裏面ニハ依然運動が續ケラレ

過般本邦側、阿部三虎(日本鮪協合)鈴木與平

(一) 鮪協代表、西氏ハ局面打開、タノ紐育カラ華府へ

廻ッテ当局ト、交渉ヲ進メタ模標テアル

本邦カラハワシントンデ成功シタケハ再ハ羅府へ戻ッテ

全問題ヲtake upシ更ニ交渉ヲ試ミル模標指令ガアツタトス

傳ハラレテ居ル

本邦ニ於テハ既ニ鮪漁、シースンデNew Packingヲシツ、アル

様子テアルガ当地方ニ於テハ鮪問題、前途ヲ慮ッテ

New Packニ対スル商談ハ一切見送、姿テアル

(二) 本、羅府通信トシテ新聞、報道ニヨルト米人側モ

多少の外、情勢ニ鑑ミ遂ニ冷凍鮪年輸入五千噸
(雖詰ニシテ二十五万ケース)及鮪雖詰ニ二十五万ケースニ同意
スル旨通知シテ来タトノ事デアル
日本側ノ主張ニ雖詰三十五万ケーストイフニアルラレク
ソレニ相当シテ冷凍ノ方ヲ多少譲ツテモ差支ナレトノ態度
ラシイ

何レニセヨ一旦決裂ヲ見タ令商が再び纏マルラレイ開勢
ニアルコトハ「片」来ノ好ニユースデアル。